

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	秋田県立医療療育センター		
○保護者評価実施期間	R7年12月18日		～ R8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	88名	(回答者数) 44名
○従業者評価実施期間	R7年12月18日		～ R8年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人の中の児童発達支援センターであるため、各部署、部門と連携・情報共有しながら一人ひとりの児に関わっていける環境にある。	入園時の状況や入園後の様子について定期的に各部署、部門と情報共有し、自部署でも周知している。	今後も継続して取り組んでいきたい。
2	親子通園であるため、随時、保護者と一緒に相談しながら子どもへの対応の仕方を検討することができる。	希望者には個別の相談援助等を実施し、相談支援の充実を図っている。	個別の相談援助体制の周知を図り、継続して取り組んでいきたい。
3	集団保育・個別指導等により、個々の発達状態をより細かく確認することができる。	集団保育ではプログラムが固定しないように配慮している。個別指導では個々の状態にあった支援ができるように工夫している。	今後も職員の専門性の向上に努め、子ども達一人ひとりの状態にあった支援ができるよう取り組んでいきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域における周知不足	法人としては地域と関わる機会があるが、事業所では行っていない。	事業所として地域でできる取り組みを検討していく。
2			
3			